

西 ～にし～

Good News 特集号

■第五商業高校（全日制）「第47回全商杯英語スピーチコンテスト東京大会」

令和元年10月26日（土）、第47回全商杯英語スピーチコンテスト東京大会が都立江東商業高校にて開催されました。

本校は、「レシテーション部門」に、2年生の佐藤ニコレットさん、「スピーチ部門」に、2年生の小松美喜さんが参加し、両部門で1位となり、初めて全国大会へ出場することが決定しました。

本校では、毎年7月、都スピーチコンテストに向けた校内オーディションを行います。今年度、代表となった佐藤さんと小松さんは、本コンテスト直前まで担当教員と練習しました。

本コンテストのレシテーション部門では、300語程度の英文を自分のものとして自然な英語で暗唱します。自分の体験でない英文を暗唱することは非常に難しく、佐藤さんは、学校でも家でも毎日練習に取り組み、コンテストに挑みました。

スピーチ部門では、自らの考えや体験を英文にして暗唱します。スピーチでは、極力ジェスチャーを使用しないで、自らの気持ちが言葉に乘せられるよう工夫しなくてはなりません。小松さんは、幼少期の祖父の体験を基に、自らが経験したことや将来のことを題材とし、気持ちを乗せたスピーチができるように工夫してコンテストに挑みました。

コンテスト当日は、佐藤さん、小松さんとも、約4か月に及ぶ練習の成果を発揮し、素晴らしいスピーチをすることができました。

以下、二人の感想です。

●小松美喜さん（スピーチ部門に参加）

「最初は原稿を考える作業をしました。私が考えていた文はメッセージ性に欠け、普通の文としては完成していたもののスピーチ向きではありませんでした。そこから先生のサポートを受け推敲に推敲を重ね完成させたときには達成感がありました。さらに、自分の発音のできていない部分を先生方に直していただき、何とか1位を取ることが出来た時には感謝と喜びの気持ちでいっぱいでした。全国大会では少しでもサポートしていただいた先生方や周りの人に恩返しできるようなスピーチをしたいと思っています。」

●佐藤ニコレットさん（レシテーション部門に参加）

「しっかりと練習したことが身になり、優勝できました。練習が大事であることを実感しています。全国大会では今まで練習してきたことを全て出し切れるように頑張ります。」

（英語同好会顧問 主幹教諭 荒井 久美）



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980

ファクシミリ（042）527-6468